

# キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1\_ ホップ農協事務所で働く渡部さん 2\_ 昨年の遠野ホップ収穫祭は、出店の手伝いとして参加。ホップ・ビールの里の盛り上がりを感じました 3\_ 遠野産ホップを使ったキリン一番搾りとれたてホップ生

**Q 遠野に来る前はどんなことをしていましたか？**  
パソコン修理会社に入社し、パソコンのキッティング(各種設定)やコレクト&リターン(修理)などをしていました。遠野に来る直前には、国内メーカーの製造工場に出向。製造ラインで故障として判断されたパソコンの修理を担当していました。

**Q 遠野に来てからどんな活動をしていますか？**  
遠野ホップ農業協同組合の事務

渡部 智秋 隊員 千葉県四街道市出身・37歳(昨年7月着任)

## 「ホップ農家さんをサポートし、ビール業界を盛り上げたい」

**Q 遠野に来る前は**  
方として着任。主に組合農家さんの裏方として事務作業に従事しながら研修しています。ホップの生産シーズンには、栽培や収穫業務の手伝いもしました。

### Q 今後の目標を教えてください

ホップ農協の仕事はもちろんです。新規就農者が参入しやすいような下地作りや効率的な方法を考えたいです。農家さんの負担を減らせるようなホップ栽培のアイデアを出して、ビール業界を盛り上げていきたいです。

# 遠野人

★筆者 くまがい わたる 熊谷 航

遠野文化研究センター主任。1980年、一関市藤沢町生まれ。遠野に移住し10年。市広報を担当後、遠野文化研究センターに異動。以後、遠野の文化発信に努める。



遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報を、お届けしています。今回は、建築家の安藤忠雄さんによる本の施設の、機能や活用についてです。

「こども本の森構想」を推進するため、施設の機能と活用を探るワークショップを開催中

広報遠野1・2月号でもお知らせした、世界的建築家の安藤忠雄さんから寄贈していただく「本の施設」の活用などについて検討を進めています。

1月10日の第1回懇談会・ワーキンググループ合同会議に続き、同月23日には「本の施設」となる「旧三田屋」で、2回目のワーキンググループ会議を開催しました。教育関係者や子育て世代、一日市商店街の住民など10人が参加。安藤さんの「東北復興のシンボルとなる子ども向けの本の施設」という思いと、旧三田屋のこれまでの活用検討経緯を踏まえ、施設の機能や活用などについて、それぞれの立場からアイデアを出し合いました。



アイデアを出し合う参加者

会議では①せせらぎがあって、子どもたちが気軽に集まり遊べる場所があるといい②イベントスペースを設置したい

③『遠野物語』関連のイベントを実施したい④沿岸とのつながりが持てる仕組みがほしい⑤ひとりになれる空間がほしいーなど、さまざまなアイデアが出されました。このほか、昔のにぎやかなまちなかを感じられる場所で、旧三田屋の歴史が伝えられるような場所にしたいというものや、子どものための施設なのだから「こども司書」がいてもいい、ネコ館長や看板犬がいてもいいのではないかなど、ユニークなアイデアも出されました。

子どもたちのための本の施設であることが大前提ですが、その親や家族、地域の方々が集い話し合える場所であったり、誰でも楽しめたり、くつろいだりでき

る施設であることも必要、という意見もありました。3月中に開催予定の3回目のワークショップでは、これらのアイデアを基に、より具体的な話し合いをすることになっています。このほか、各地の視察なども実施しながら、こども本の森構想の基本方針としてまとめていく予定です。

被災した子どもたち、遠野の未来を担う子どもたちの希望の施設とするために

東日本大震災で被災した子どもたちや、遠野の未来を担う子どもたちが、夢と希望を育めるような居場所になりたい。安藤さんと遠野のこの思いを形にすることが、こども本の森構想です。この施設(旧三田屋)のある中央通りを東側に行くと、元気わらすっこセンター(旧庁舎跡地)、東館児童公園、遠野小学校、遠野児童館など、子育ての施設が並んでいます。これらの中心に位置する元気わらすっこセンターを、子育て支援の拠点とする計画があります。この計画と「こども本の森構想」とをあわせて、一体的に子どもたちの夢と希望を育む居場所とすることを目指しています。



一昨年新リニューアルオープンした子育て支援の拠点「元気わらすっこセンター」

### ★今月のプレゼント

このコーナーへご意見・ご感想をお寄せいただいた3名様へ、抽選で明治のまちなか観光ガイド本『遠野案内』(旧三田屋も登場しています)をプレゼントします。①お名前②ご住所③電話番号④感想—を添え郵送、ファクス、メールのいずれかで下記まで送付ください。\*締切3月31日(火)

